



プレスリリース

報道関係者各位

2022年12月13日  
Veeva Japan株式会社

## Veeva、2023 年度第 3 四半期および通年の業績を発表

～ 総売上高は 5 億 5,240 万ドル、前年比 16%の増収  
サブスクリプション契約による売上高は 4 億 4,160 万ドル、前年比 16%の増収 ～

Veeva Systems【NYSE:VEEV】(本社：カリフォルニア州プレザントン、日本法人 本社：東京都渋谷区、日本法人代表取締役：Sebastian Bather、以下 Veeva) は、2022 年 10 月 31 日を末日とする第 3 四半期の業績を発表しました。(本リリースは、Veeva 米国本社が発表した報道資料の抄訳です。原文は[こちら](#)からお読みいただけます。)

原文：<https://www.veeva.com/resources/veeva-announces-fiscal-2023-third-quarter-results/>

Veeva の最高経営責任者(CEO)である Peter Gassner は、次のように述べています。「安定した事業の実行と強力なイノベーションにより、当社は 2025 年目標を 1 年前倒しで達成する見込みであり、2030 年以降の大きな成長に向けて準備を整えています。Veeva チームがお客様の成功と製品の卓越性に注力したことで、当社の影響およびライフサイエンス業界との戦略的パートナーシップが拡大しています。」

### 2023 年度第 3 四半期業績：

- **売上高**：第 3 四半期の総売上高は 5 億 5,240 万ドルで、前年同期の 4 億 7,610 万ドルから 16%の増収。第 3 四半期のサブスクリプション契約による売上高は 4 億 4,160 万ドルで、前年同期の 3 億 8,070 万ドルから 16%の増収となりました。

- **営業利益と Non-GAAP の営業利益<sup>(1)</sup>**: 第 3 四半期の営業利益は 1 億 2,140 万ドルで、前年同期の 1 億 3,270 万ドルから 9%の減益。第 3 四半期の Non-GAAP の営業利益は 2 億 1,950 万ドルで、前年同期の 1 億 9,940 万ドルから 10%の増益となりました。
- **純利益と Non-GAAP の純利益<sup>(1)</sup>**: 第 3 四半期の純利益は 1 億 850 万ドルで、前年同期の 1 億 590 万ドルから 2%の増益。第 3 四半期の Non-GAAP の純利益は 1 億 8,320 万ドルで、前年同期の 1 億 5,820 万ドルから 16%の増益となりました。
- **1 株当たり純利益と Non-GAAP の 1 株当たり純利益<sup>(1)</sup>**: 第 3 四半期の完全希薄化後 1 株当たり純利益は、前年同期の 0.65ドルから 0.67ドルとなりました。これに対し、Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益は、前年同期の 0.97ドルから 1.13ドルとなりました。

Veeva の最高財務責任者(CFO)である Brent Bowman は、次のように述べています。「当社の第 3 四半期業績は、財務見通しを上回るなど全体的に素晴らしい結果となりました。当社は、コマーシャルおよび R&D 分野の大きな機会に向けて取り組んでおり、持続的かつ収益性の高い成長を実現する好位置にいます。」

#### 最近のハイライト:

- **画期的な戦略的パートナーシップ** — Veeva は、Merck 社(米国およびカナダ以外では MSD 社と呼ばれています)との間で、既存の 12 年間のパートナーシップを発展させ、10 年間の戦略的パートナーシップ契約を締結しました。Merck 社は、業界に特化した新しいソフトウェアやデータを扱う際、目的に合致する Veeva 製品があれば、それを最優先で選択します。このパートナーシップにより、Merck 社はデジタル戦略を加速させ、Veeva 製品を評価、購入、運用することで、価値を生み出す際の効率をさらに向上させることができます。この種の契約締結は Veeva にとって初の試みであり、本契約はライフサイエンス業界の最も戦略的なパートナーになるという当社のビジョンを支えます。
- **臨床分野における主導的地位の拡大** — Veeva Vault Platform は統合化された製品スイートで、顧客が臨床オペレーションをより効率的に実施し、医薬品の開発を加速できるよう支援しています。これらの製品はライフサイエンス企業の間で優先的に選択されるようになっており、450 社を超える顧客が Veeva Vault eTMF を採用し、175 社を超える顧客が Veeva Vault CTMS を採用しています。

- **Veeva Vault Safety** の重要なマイルストーン到達 — 製薬企業トップ 20 社の中で初めて、Vault Safety の運用がその主要部門および大半の国で開始されました。医薬品安全性および医薬品安全性監視は、製薬企業にとって最も複雑かつ重要な分野の 1 つです。この運用開始の成功は、Vault Safety が企業向けに製品提供の準備が整っていること、そして顧客の成功と製品の卓越性に対する Veeva のコミットメントを示しています。

#### 財務見通し:

2023 年度第 4 四半期(2022 年 11 月～2023 年 1 月)の Veeva の財務見通しは、下記の通りです。

- 総売上高は 5 億 5,100 万ドル～5 億 5,300 万ドル
- Non-GAAP の営業利益は約 1 億 9,900 万ドル<sup>(2)</sup>
- Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益は約 1.05 ドル<sup>(2)</sup>

2023 年度通年(2022 年 2 月～2023 年 1 月)の Veeva の財務見通しは下記の通りです。

- 総売上高は 21 億 4,300 万ドル～21 億 4,500 万ドル
- Non-GAAP の営業利益は約 8 億 2,000 万ドル<sup>(2)</sup>
- Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益は約 4.19 ドル<sup>(2)</sup>

- (1) 本プレスリリースでは Non-GAAP の財務指標を使用しており、これらの指標は様々な GAAP 項目の影響について調整されています。詳細につきましては、原文の「Non-GAAP Financial Measures」と題されたセクションおよび「Reconciliation of GAAP to Non-GAAP Financial Measures」と題された表をご参照ください。
- (2) Veeva は現時点で 2023 年 1 月 31 日に終了する第 4 四半期および 2023 年 1 月 31 日に終了する年度の営業利益と完全希薄化後 1 株当たり純利益の GAAP 目標を提示することができません。それは Non-GAAP の営業利益および Non-GAAP の完全希薄化後 1 株当たり純利益に含まれない特定の項目を見積もることが難しいためです。特定項目費用の例としては株式ベースの報酬費用に関連する費用や購入した無形資産の償却、CEO の株式取引に対する雇用者給与税などが挙げられます。これらの除外項目の影響は重大である可能性があります。

## 【Veeva Systems 社について】

Veeva Systems 社はライフサイエンス企業向けにクラウドベースのソフトウェアを提供するグローバルリーディングカンパニーです。世界最大規模の製薬企業からバイオテクノロジー分野の新興企業まで、1,100 社を超える顧客に技術革新への取り組みや卓越した製品力によって、お客様の成功にコミットする様々なサービスを提供しています。パブリック・ベネフィット・コーポレーション企業として Veeva は、お客様や従業員、提携企業、株主、サービス提供業界を含むすべてのステークホルダーの利益バランスを保つことにコミットします。詳しくは、<https://veeva.com/jp/>をご覧ください。

Veeva は Web サイト、<https://ir.veeva.com> を重要な非公開情報の開示、今後の投資家向け会議の発表、およびレギュレーション FD に基づく開示義務の遵守のために使用します。したがって、プレスリリース、SEC の提出書類、および公開会議電話とウェブキャストに加えて、投資家向けウェブサイトに合わせてご確認ください。

## Veeva Forward-looking Statements

This release contains forward-looking statements regarding Veeva's expected future performance and, in particular, includes quotes from management and guidance provided as of December 31, 2022 about Veeva's expected future financial results. Estimating guidance accurately for future periods is difficult. It involves assumptions and internal estimates that may prove to be incorrect and is based on plans that may change. Hence, there is a significant risk that actual results could differ materially from the guidance we have provided in this release and we have no obligation to update such guidance. There are also numerous risks that have the potential to negatively impact our financial performance, including as a result of competitive factors, customer decisions and priorities, events that impact the life sciences industry, issues related to the security or performance of our products, issues that impact our ability to hire, retain and adequately compensate talented employees, the pandemic, fluctuations in foreign currency exchange rates, and general macroeconomic and geopolitical events (including inflationary pressures and impacts related to Russia's invasion of Ukraine). We have summarized what we believe are the principal risks to our business in a section titled "Summary of Risk Factors" on pages 39 and 40 in our filing on Form 10-Q for the period ended July 31, 2022, which you can find [here](#). Additional details on the risks and uncertainties that may impact our business can be found in the same filing on Form 10-Q and in our subsequent SEC filings, which you can access at [sec.gov](https://sec.gov). We recommend that you familiarize yourself with these risks and uncertainties before making an investment decision.

【本件に関するお問い合わせ先】

Veeva Japan 株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー5階

TEL : 03-6721-9800 FAX : 03-3449-7800 E-mail : [japan.info@veeva.com](mailto:japan.info@veeva.com)